

● <類題>の解答・解説

- 4 (1) 66 と 360 の最小公倍数は 3960 なので、3960 度進むごとに 0 番の点と重なります。

$$3960 \div 66 = \underline{60(\text{番})}$$

- (2) のべ  $66 \times 333 = 21978(\text{度})$  だけ回るようになります。

$$21978 \div 360 = 61(\text{周})\text{あまり } 18(\text{度})$$

よって、答えは 18 度 です。

- 5 (1) 6 月のカレンダーは右図のようになり、1 日から 16 日

までで掃除をする日は  $16 - 2 = 14(\text{日})$  あります。

14 日では、のべ  $6 \times 14 = 84(\text{人})$  が当番をします。

$84 \div 44 = 1(\text{周})\text{あまり } 40$  より、6 月 16 日の当番は

40 番の人が最後です。

よって、答えは 35 番から 40 番まで です。

日	月	.	.	.	.	.
	1	2	3	4	5	6
	7	.	.	.	.	.
	14	15	16			

(注:「・」は書くのを省略している部分です)

- (2) 44 と 6 の最小公倍数は 132 なので、のべ 132 人が当番をするごとに、6 人の組がもどります。

よって、次に 1 番から 6 番までの人が担当するのは、

$$132 \div 6 + 1 = 23(\text{日目}) \text{ です。}$$

1 週間のうち、掃除をするのは 6 日です。

$$23 \div 6 = 3(\text{週間})\text{あまり } 5 \text{ 日}$$

右のカレンダーより、答えは 6 月 26 日 です。

日	月	.	.	.	.	.
	1 2 3 4 5 6					
7	. . . . .					
14	. . . . .					
21	22 23 24 25 26					

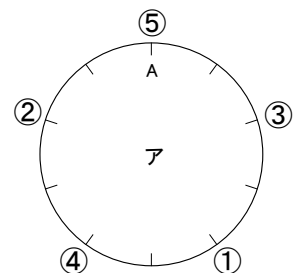
- 6 (1) 4 めもりごとにアの周と点 B が重なるので、

答えは右図のようになります。

- (2)  $24 \div 8 = 3$  なので、3 の倍数のめもりにだけ番号が付きま

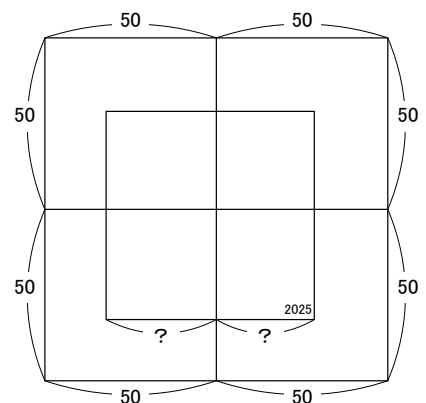
よって、「 $24 \div 3$ 」と「 $b \div 3$ 」は互いに素の関係になります。

8 と互いに素な 8 以下の数は、1、3、5、7 なので、b として考えられるのは、3、9、15、21 です。



● ＜応用＞＜難問＞のヒント

- 7 「8 ○ ○」という3つの数で組ができていることはわかりますよね。  
 ですので、まずは200番目が何組目の何番目の数なのかを求めましょう。
- 8 規則性の問題の解き方の基本は「小さい数の場合をしんちょうに調べる」でしたね。  
 (1)の表の「1辺の枚数」が2枚、3枚の場合の空らんはちゃんとうめえましたか？ そして、もしそれでも規則性がわからないのであれば、1辺が4枚の場合もちゃんとかき加えましたか？  
 (3)では、まずは白と黒の合計が  $5000+5000=10000$ (枚) であることを利用して、1辺の枚数の見当をつけましょう。
- 9 <応用演習>問3の考え方(4年生2学期グループワーク第4回の「星作り」と同じ考え方)がわかっているならば、問題文6行目の「例えば～」や(1)を実際に試すことですぐにピンと来るはず。  
 わからなければ、「選ぶ数」をいろいろと変えてみて、「12」との関係調べてみましょう。  
 (3)で、「あれ？答えは4通りあるんじゃない？」と思った人は、「100回進む」という条件に注意しましょう。
- 10 「1周目の終わり(2周目の初め)がどのような状態になるのか」で場合分けして考える必要があります。  
 2周目の初めがちょうど「スタートの石」になる場合は石の総数もかんたんにわかるはず。  
 さて、残りの場合はどうなるでしょうか？
- 11 数表では特ちょうのある数に注目するのが大切！ この問題では当然、平方数に注目ですね。  
 ただし、平方数に注目するだけでは(2)や(3)がかなり苦しいかも。そういうときは自分で図をかいて図形のように考えてみてはどうでしょうか。  
 例えば右のようにかいてみると……



5年3学期 第8回 規則性の総まとめ 個別演習プリントの解答・解説、ヒント

**【次回予告】**

5年生最後となる第9回は割合の総復習です。あらかじめ復習をしておきたければ、

4年生 → 2学期第11回(倍の考え方)

3学期第8回(倍・百分率・歩合)、第9回(比)

5年生 → 2学期第4回(めもりで比べる)、第13回(仕事算)

を見返しておくといいでしょう。